

1期生の近況報告

世話人挨拶

琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学 健山正男（1期生）

今回、1期生に2回目の編集担当が回ってきました。通常は「近況報告のコーナー」は同期から2名に執筆依頼するのが慣例のようですが、今回は二回り目ですので紙面を刷新する意味で同期生に下記のメールを送ったところ、多くの応募がありました。同窓会、増田会長の許可を得て、コーナーを拡大して掲載させて頂きました。

案内文

「同期生の皆さま、お変わりないでしょうか。早速ですが琉球大学医学科同窓会誌「南風」は、毎回、学年持ち回りで担当することになっています。今年は1期生が2回目の担当をすることになりましたので、世話人を島袋、外間、健山の3人で担当します。

「近況報告」は従来までは2名の方に執筆してもらっているのですが、今回は新しい試みとして、1期生の多くの方々に登場してもらうことを企画しました。多くの方が参加しますので俳句のお題みたいに、テーマがあると面白いかと思ひまして、下記のテーマ「今、夢中になっていること」をあげました。提案理由は、医学生、医師として人生を送ってきた今、全員が不惑を通り越して「天命を知る」境涯（年齢）だと思ひます。ある程度、周りが見える年になってきて、結局、自分にとって大事なもの、やりたいもの、今、関心があるもの、夢中になっているものはなんなのか、ということです。仕事でも趣味でも、ボランティアでも人それぞれだと思ひます。結果的に後輩へのメッセージになるかもしれませんが、それはあまり意識しなくてもいいと思ひます。思うところを書いて下さい。

今年は1期生が2回目の担当であることは既述しましたが、3回目が回ってくるのは100歳超になると思ひます。本当に天命を知る年齢になります（汗）。参加するなら、「今でしょう!!」以上。

この手紙を送った後、自薦、他薦、強制含めて、締め切りまでに13本の原稿が集まりました。全て紹介します。

1. 本庄保至。「ロケンロール・フオアエヴァー」。本庄医院

みなさん、こんにちは。琉球大学医学部医学科1期生、屈指の問題児、本庄です。かつては「ゾンビ本庄」とも呼ばれていました。

なにしろ、先生方のご温情により順調に進学卒業させていただいたにもかかわらず、バンド活動のために国試を二回浪人したほどの親不孝者です。とはいえ、その頃、自費出版したLP「有角神舞踏/TABBASA」は沖縄のインディーズ会社により2008年にCDとして再発され、新旧のマニアに喜んでいただきました。世の中、なにが起こるかわかりません。

さて、無事、国試に合格した後、日本大学付属板橋病院の小児科医局でビシバシ鍛えられ、父の他界とともに医院を継いで今に至ります。当初は父譲りの内科系、外科系、整形外科系の年長の方がほとんどで苦労しましたが、時とともに小児が増え、次第に自分流のやり方で仕事ができるようになりました。シーズンになると保育園状態です。これはこれでまた、大変なことでもあるのですが。

休日の朝には、前日からの患児を引き継いで診察し急患も受け付けているため、十数年間、東京から出て

いません。結果、楽しみは家での創作活動が中心になります。

一時期は家庭の事情でロケンロールできず、小説書きに専念していました。（某SF新人賞の最終選考に残りながらも、「下品過ぎる」と落とされました。受賞していたらまた違った内容をここに書いていたでしょう）

最近、子供達に手がかからなくなったのでロケンロールを再開しました。新たにギブソンSGやらフライングVやらをゲットし、作曲作詞演奏歌！CGソフトで映像をつけ、YOU

TUBEにア〜〜〜ッ
プ！金髪ヅラとグラサンつけ、ライブハウスで飛び入りセッション！とにかくヒマができるロケンロー！

時間作ってロケンロー！しています。同期の皆さんの、「相変わらずだな〜、ホン

